

広島市植物公園 見どころ案内

カラコエ・シンセパラ (ベンケイソウ科)

マダガスカル原産。白い花が咲いています。イチゴのようにランナーが伸びてその先に子株ができます。

野生ラン (ラン科)

本園では約1500種の野生ランを栽培していますが、開花した株をここに展示しています。東南アジアや熱帯アメリカなどの珍しい野生ランの花を見ることができます。

パラグアイ オオオニバス (スイレン科)

オオオニバスは夏のイメージが強いですが、温かい熱帯スイレン温室では、冬でも花が咲きます。夜咲く花なので日中はしぼんでいます。

大温室改修のため 休館中

リニューアルオープンは平成30年春ごろです(予定)

新春小品盆栽展

～1月8日(展示室)
松、竹、梅など新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立の組み物として展示しています。臨時売店もあります。

球根ベゴニア (シュウカイドウ科)

当園では年間を通じて球根ベゴニアが開花していますが、特にハンギングタイプは冬から春にかけて最も豪華に咲きます。

サザンカ・寒椿など(ツバキ科)

ツバキ園には肥後椿を中心に200品種約600本のツバキが植えられています。サザンカ・ハルサザンカ(サザンカとツバキの交雑種)・寒椿などが咲いています。

ヤマコウバシ

(クスノキ科)
落ちない受験のお守りの木です。紅葉のあと、春の芽だしまで葉が落ちずに冬を越します。

ハボタンのタペストリー

(アブラナ科)
紫や白に色づいたハボタンを使って、絨毯のように仕上げました。

ヒラギナンテン

'チャリティー' (メギ科)
北アメリカ原産で、花の少ない真冬に香りのある黄色い花を咲かせています。

サザンカ

(ウメ園～針葉樹園)
階段に沿って植栽されているサザンカが花盛りです。散策にはおすすめの小径です。

